



1. 単元 人の生きる姿や社会について自分の考えを深める

「故郷」 魯迅

2. 指導観

○単元・題材観

本単元は、中学校学習指導要領「C読むこと」の指導事項（1）のイ「文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。」・エ「文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつこと。」の能力を育成することをねらいとして設定されている。

中心教材「故郷」は、中国近代文学の父と呼ばれる魯迅の作品で、文学によって中国の近代化を進めようと尽力した作者の生き方や考え方がよく表れている。当時の中国社会の現実を描くことで、社会の変革を求め、新しい生活の実現を願った作品である。その願いは「私」が絶望を乗り越えて獲得した思想であり、作者自身の思想でもある。時代も国も異なる作品で、現代の中学生には理解しにくい部分もあるが、困難な状況の中でどう生きるのかについて考えることは、未来に希望を見だしにくい現代にも通じるものであり、意義深いことだといえる。3年生の生徒たちは間もなく義務教育を終えようとしており、自分自身の生き方や社会とのつながりについて真剣に考える時期であるといえる。この時期にこの教材を学ぶことは、社会に出て行く生徒にとって、自分自身に目を向けるだけでなく、他者や社会との関わりにも目を向け、自分の意見を持つよい機会となると考える。

○生徒観

本学級の生徒  明るく、他者に対する思いやりのある生徒が多いため、学級全体の雰囲気はあたたかく共感的なものである。しかし、学力の低い生徒が多く、深い読み取りは難しい実態がある。

今年度の全国学力・学習状況調査は、次のような結果となっている。

平成 28 年度調査結果平均正答率	校内平均	全国平均
A 問題		
B 問題		

読書や国語に関するアンケートの結果は次の通りである。（〇名中）

- ・授業以外で読書（漫画は除く）をすることがあるか・・・ある〇名、ない〇名
- ・あると答えた人は年間に何冊くらい読むか・・・50冊以上〇名、10冊以下〇名
- ・国語の授業で興味のある分野は・・・物語〇名、小説〇名、詩歌〇名
- ・国語の授業で興味のない分野は・・・文法〇名、言葉（語句）〇名、漢字〇名

文学作品の学習に関しては全体的に興味・関心が高く意欲的に取り組んでいる様子が見えてくる。しかし日常的に読書をしている生徒は半数以下であり、そのほとんどが年間に10冊以下の本しか読んでいないという厳しい実態がある。

○指導観

本単元では生徒の思考力・判断力・表現力を育成するため、課題解決的な学習を位置づけた。主人公の心に浮かぶシーンとして描かれている「故郷の景色」の変化に着目して、グループ交流や言語活動を行うことで読みを深め、思考力・判断力・表現力を育成したい。導入では「状況の中で生きた人」の例としてマザーテレサ等を挙げ、人間の生き方について考えさせたい。そして、作品全体の読み取りを行った後、回想シーンと最終シーンで二度描かれている「故郷の景色」がなぜ変わったかについて交流を行う。交流の際は、根拠や理由を意識した発言をさせることで、活発で有意義な活動となるよう仕向けた。回想シーン（過去）」「最終シーン（現在）」の変化の理由について学習した後、「未来のシーン」として主人公が望む新しい生活が実現された「故郷の景色」を想像して書くという言語活動を行う。作者の意図するものを感じ取ったり、自分の考えを深化したりして得た内容価値や、二つを比較したり順序をつけたりして得た方法価値を、日常生活に生かせるようにしっかりと位置づけしていきたい。

3. 単元・題材の目標

- 状況に生きる人間の姿について興味・関心を持ち、積極的に人間や社会に対する考えを深めたり交流したりしようとする。
(関心・意欲・態度)
- 場面や登場人物の設定・描写について考え、描かれている状況や登場人物の心情を理解することができる。
(読むこと)
- 作品に表れているものの見方や考え方をとらえ、人間や社会に対する自分の考えを持つことができる。
(読むこと)
- 心情や感情を表すための効果的な表現をとらえ、作品の読みに生かすことができる。
(言語についての知識・理解・技能)

4. 評価規準

ア関心・意欲・態度	イ読む能力	ウ言語についての知識・理解・技能
①作者や時代背景について理解を深めようとしている。 (様相観察・シート)	①登場人物の関係を捉え、対比に着目しながら、人間関係を図示している。 (シート)	①心情や表情をとらえる際に、語句や表現に着目している。 (様相観察・シート)
②作品を通して気になった描写や登場人物を指摘し、進んで読もうとしている。(シート)	②情景描写に心情を重ねた効果的な表現を捉えている。 (シート)	
③互いの意見を関連づけながらグループ交流し、自分の考えを深めようとしている。 (様相観察・シート)	③「私」とルントウとの関係が対等であること、「私」がルントウに憧憬の念を抱いていることを読み取っている。 (シート)	
	④人物描写に着目してヤンおばさんとルントウの変容を捉え、「私」の心情を読み取っている。 (様相観察・シート)	
	⑤「希望」という言葉に着目して、作品に込められた作者の思いについて捉え、まとめている。 (シート)	
	⑥「故郷の景色」の相違点に気づき、まとめている。 (シート)	
	⑦「故郷の景色」がなぜ変わったかについて、交流を通して深まった考えをまとめている。 (シート)	

5. 単元指導計画

次	時数	学習活動・内容	手立て	評価規準
一	1	<ul style="list-style-type: none"> ・この単元で身につけたい力と学習の流れを知る。 ・作者や時代背景について確認する。 ・漢字や語句の確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・状況の中で生きた人の例を挙げる。(マザーテレサなど) ・資料のポイントになる用語に線を引かせ、作者や時代背景について理解させる。 	アー①
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・作品を通読しあらすじをつかむ。 ・心にとまった表現や登場人物について 	<ul style="list-style-type: none"> ・範読を聞きながら、気になる部分に線を引き、読後にまとめさせる。 	アー②

		まとめる。		
二	3	・作品の構成を知り、登場人物の関係を人物相関図に表す。 ・情景描写に着目しながら帰郷の場面の「私」の心情を読み取る。	・人物関係図のモデルを示し、主要な登場人物を明確にした上で書かせる。 ・情景描写と心情の重なりに着目して、暗く沈んだ気持ちを読み取らせる。	イー① イー②
	4	・回想の場面から、少年時代の「ルントウと私」との関係や、ルントウに対する心情を読み取る。	・会話や色彩表現に着目して心情を読み取らせる。	イー③ ウー①
	5	・再会の場面から、ヤンおばさんとルントウの変容と「私」の心情を読み取る。	・外見を表す表現や会話文に着目して変容を読み取らせる。 ・外見と内面の両面から考えさせる。	イー④ ウー①
	6	・帰郷の場面から、故郷を去る「私」の思いを「希望」という言葉と登場人物の設定の仕方に着目して読み取り、「私」の望む生き方を考える。 ・「私」の心に浮かぶ「故郷の景色」の相違点を確認し、なぜ変わったのかについて自分の考えをまとめる。	・比喩表現についての説明をし、正確な読み取りができるようにする。 ・視点の変化にも目を向けさせる。 ・モデル文を示して記入させる。	イー⑤ イー⑥
	7 本時	・「私」の心に浮かぶ「故郷の景色」がなぜ変わったのかについてグループ交流し、考えを深める。	・模造紙に要点やキーワードを書きながら交流することで、それぞれの意見を関連づけて考えさせる。 ・学習シートを用い、交流前後の自分の考えの広がりや深まりに気づかせる。	アー③ イー⑦
	8	・これまでの学習をふまえ、「私」の心に浮かぶ「故郷の景色」の未来像を書き、グループで交流し、人間の生き方について考える。	・モデル文を示して、登場させる人物、視点の変化などを具体的に考えさせる。 ・導入で紹介したマザーテレサ等の生き方と合わせて考えさせる。	アー③

6. 本 時

平成〇年〇月〇日〇曜日 第〇校時（第二次の7） 3年〇組教室に於いて

(1) 主眼

互いの意見を関連づけながらグループ交流することを通して、「故郷の景色」がなぜ変わったのかについて深まった自分の考えをまとめることができるようにする。

(2) 授業仮説

以下の手立てを講じれば、生徒はグループ交流を通して互いの意見を関連づけることができ、「故郷の景色」の変化が意味することについて、自分の考えを深めまとめることができるであろう。

①本時の問いを持つことができるように「故郷の景色」の変化を具体的に振り返った上で、なぜ変わったのか問いかける。 (問いづくり)
②グループ活動をする際、模造紙に各自の意見を要点やキーワードで記入させ、それを矢印や線などの記号を用いて関連づけながら話し合いをさせる。 (思考づくり)【話し合う活動】
③理由や根拠を明確にして自分の考えを持つことができるように、記述のモデル文を提示するとともに、発言内容を構造化して板書したりまとめのキーワードを強調したりして板書する。 (思考づくり)【かく活動】
④本時学習の価値を自覚できるようにするために、互いの意見を関連づけながらグループ交流したことによって考えが深まったことを賞賛する。 (価値づくり)

(3) 準 備

- ①学習シート ②模造紙 ③マジック ④タイマー

(4) 展開

	学習活動・内容	指導上の留意点 ◇評価基準（方法）	配時	形態
導入	1 前時までの学習を振り返り、本時のねらいを確認する。	○本時の問いを持つことができるように「故郷の景色」の変化を具体的に振り返った上で、なぜ変わったのか問いかける。	5	全体
	<p>お互いの意見を関連づけながらグループ交流し、「故郷の景色」がなぜ変わったのか考えよう。</p>			
展開	2 グループ交流を行う。 （1）自分の意見を発表する。 （2）交流を通して考えを深める。	○発表した意見の要点やキーワードを、模造紙に各自で記入させる。 ○グループは生活班を用い、国語担当のリーダーが司会を務める。司会者から順に自分の意見を発表し、模造紙に記入。その後交流を行うよう指示する。 ○矢印や線などの記号を使って互いの意見を関連づけながら交流させる。 ○机間指導を行い、進捗状況を把握する。話し合いの進まないグループには助言を与える。 ○全員の意見を出し合い、交流した後グループで1つの意見にまとめさせる。	22	グループ
	<p>◇評価場面1（ア-③） 【評価方法】様相観察・模造紙への記入 A：互いの意見の要点やキーワードを、記号を使って的確に関連づけたり、新たな意見を書き込んだりしながらグループ交流し、まとめようとしている。 B：互いの意見の要点やキーワードを記入しながらグループ交流し、まとめようとしている。 C：課題が理解できず、グループ交流が進まない。 ↓支援 机間指導を行い、つまづきの状態に応じて説明したり助言したりする。</p>			
	（3）班として1つの意見にまとめ、発表用の模造紙に記入する。	○納得できる意見となるよう、根拠や理由をふまえてまとめるよう指示する。 ○黒板に貼ったときに読みやすいよう、文字の大きさやバランスを意識して記入させる。		
	3 グループの意見を1分間プレゼンで発表し、共有する。	○グループとしての意見を発表する際、プラスαとして少数意見やアピールしたい点などを自由に発表させる。 ○最終的な自分の意見をまとめる活動で参考にするために、他のグループの発表を聞く際にはメモを取りながら聞くよう指示する。	8	全体

<p>展 開</p>	<p>4 グループ発表で共有した意見をもとに、全体で話し合う。</p>	<p>○共有した意見や生徒の発言から、「具体から抽象」の考え方となるものを取り上げ、話し合いを深める。 例として「平和式典で放たれるハト」が「平和そのもの」の象徴となっていること等を挙げ、「すいか畑」が何の象徴として描かれているか等を考えさせる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>*すいか畑 ↓ ルントウとの楽しい思い出</p> <p>*金色の月を見上げる ↓ 夢や希望、可能性など</p> </div> <p>○「ルントウとすいか畑が消えた理由」「金色の月を見上げている理由」を確認し、まとめを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ルントウとすいか畑が消えたのは、現実のルントウに失望したから。 ・金色の月を見上げて終わっているのは、未来に希望を抱いているから。 <p style="text-align: center;">↓</p> <p>過去の思い出は色あせ消えたが、未来に希望を抱いているから。</p> </div>	<p>10 全体</p>
<p>終 末</p>	<p>5 本時の振り返りをする。</p>	<p>○グループ交流を通して深まった自分の考えや、本時の学習で気づいたこと、感想などを学習シートにまとめさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◇評価場面2（イー⑦） 【評価方法】学習シートへの記入 A：交流で触れた他者の考えを自分の考えと関連づけ、より説得力のある表現を使ってまとめている。 B：交流で触れた他者の考えを参考にして自分の考えをまとめている。 C：交流した内容を自分の考えに生かすことができていない。 ↓ 机間指導を行い、つまづきの原因を確認して助言する。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>まとめ：互いの意見を関連づけながらグループ交流し、深まった自分の考えを学習シートにまとめている。</p> </div>	<p>5 個</p>